

品名 ウォシレット一体形便器
型式 ZEI・I

安全に正しく施工していただくために

作業を誤った場合の危害・損害の程度をつぎの二つに区分してあります。いずれも安全に関する内容ですので必ず守ってください。

はじめに

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

- 施工方法が新しくなっています。説明書をよくお読みください。
- 電気工事が必要な場合は必ず電気工事業者に依頼してください。
- 司組の取扱説明書・使い方の説明シートは、必ずお客様にお渡ししてください。
- 取扱説明書中の保証書には、お買上げ店名または工事店名およびお取付日をお必ず記入してください。
- 既設便器 (旧 ZG、ZS) への機能部の取付けは、TCA33 または、TCA34 内の施工説明書によって行ってください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 浴室など、湿気の多い場所には設置しないでください。
(火災や感電のおそれがあります。)
- アースは、D種接地工事(100Ω以下)を行ってください。
(感電のおそれがあります。)
- 中水道や工業用水の水道に接続しないでください。
(皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。)
- 電源プラグは交流100V(50/60Hz)のコンセントに根元まで確実に差込んでください。またガタついているコンセントを使わないでください。(火災や感電のおそれがあります。)



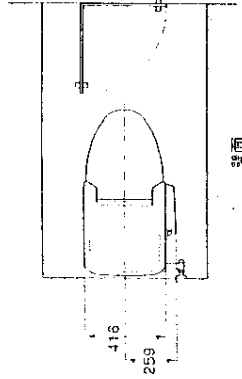
注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

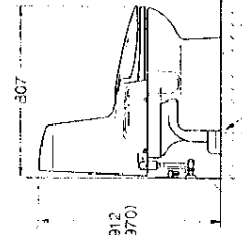
- ロータンクの給水量を調整してください。
(ロータンクから水があふれだし、床を濡らすおそれがあります。
→ 調整方法は、裏面の **8** **ロータンクの水量調整** をごらんください。)

取付前のご注意

(床排水便器の場合)



(床排水便器の場合)



※ () 内の高さは手洗い付の場合

• トイレスペース

ドアの開閉に支障がないことを確認してください。

※ 室内暖房用の温風吹き出し口には150mm以上の空間を確保してください。

• 電源

電源は交流100V(50/60Hz)、定格消費電力は906W(ヒータ付便器の場合は936W)です。

• コンセント位置

コンセントは、本体のコード取出位置から0.8m以内の壁面に取付けてください。

電源コード・アース線の長さは1.0mです。

• 給水圧力範囲

給水圧力範囲は0.05(流動時)~0.74MPaです。

※ 仕様の詳細は、取扱説明書38ページをごらんください。

部品の確認

■ 総合セット品番

C E S 9 4 0

Y L G

機種	種類
記号	種類
CES945	ZEII
CES940	ZEI

便器	
記号	品番
なし	C970
B	C970B
BH	C970BH
BP	C970BP

止水栓+(運結ホース)	
記号	品番
D	TCA26
E	TCA27
G	TCA28

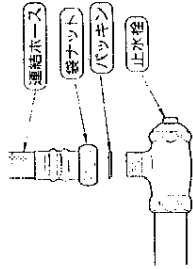
手洗いの有無	
記号	種類
なし	なし
L	あり

内部金具の種類	
記号	種類
なし	一般
Y	水抜方式
F	流動方式

※ 床排水便器用・排水ソケットの品番はTCA28です。
床排水用便器・排水管用パッキンの品番はTCA35です。

3

止水栓と連結ホースの接続



止水栓と連結ホース(袋ナット側)の間にパッキンをはさんで締付けます。

4

便器部の取付け

詳しくは排水ソケットまたは便器に同梱の施工説明書をごらんください。

5

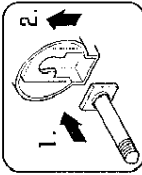
機能部本体の取付け

<新施工>

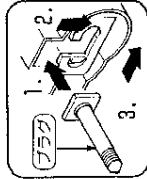
※固定カプラは、工場で便器の正しい位置に適性トルクで締付けていますので施工時締付けたり、ゆるめたりしないでください。

●機能部本体を取付ける

①プラグを取付ける

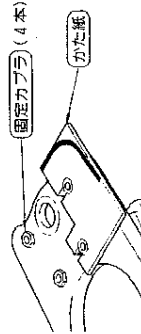


プラグ(4本)を本体底に取付けます。



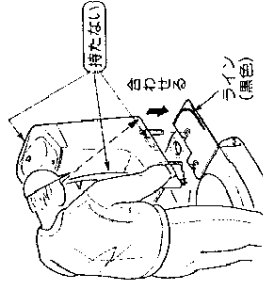
※ロータックパッキンがついていることを確認してください。

②かた紙を置く



便器上面に突出している固定カプラの六角フランジ部(右側2個)に合わせ、かた紙を置きます。

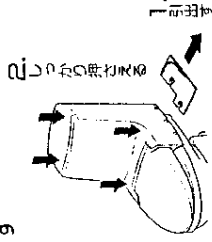
③機能部本体を取付ける



機能部のケース外周をかた紙のライン(黒色)に合わせながら便器に取付けます。

※機能部本体を持ち上げるときは、便座、便ふた、ケースふたは持たないでください。

④かた紙をはすす



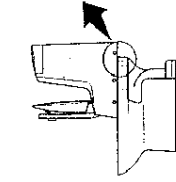
1. かた紙を横に引出します。
2. 便座、便ふたをおろして機能部を上からしっかり押さえてください。

⑤確認する

機能部が固定されていることを確認します。
(機能部を軽く持ち上げて動かさないことを確認してください。)

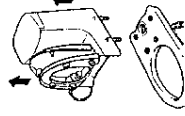
●機能部本体をはすす場合は…

①ロックを解除する



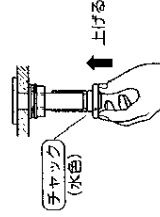
便器下面にあるチャック(水色)を下側にカチッと音がするまで下げて、プラグのロックを解除します。(4カ所)

②機能部本体をはすす



そのまま機能部を上持ち上げます。
(軽く持ち上げられない場合は、ロックが解除されていません。
(無理にはずさず、①へ戻ってやり直してください。)

③チャックを上げる



チャック(水色)を上げます。
(4カ所)

●機能部本体をはすした後、もう一度取付ける場合は…

- 機能部本体を取付ける
固定カプラにプラグを差込みます。
- ⑤ページ ●機能部本体を取付けるへ戻り、機能部本体を取付けてください。

8 ロータンクの水量調整

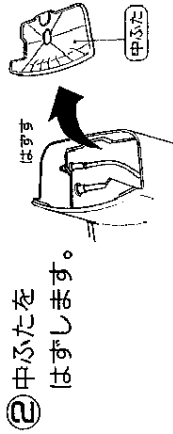
1. 水漏れの点検をする

止水栓を開いて、配管からの水漏れがないことを確認します。

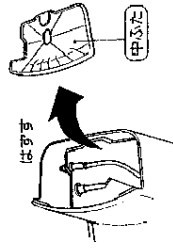
2. ケースふたを取りはずす

手洗いなしの場合

- ① ケースふたの後方を上げながらケースふたをはずします。

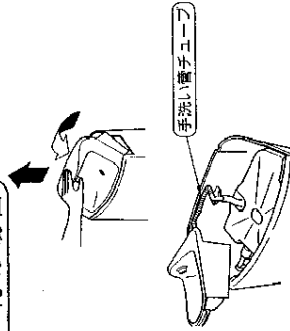


- ② 中ふたをはずします。



手洗い付の場合

- ① ケースふたの後方を上げながらはずします。
- ② 手洗い管チューブはつないだまま、ケースふたを横に置きます。

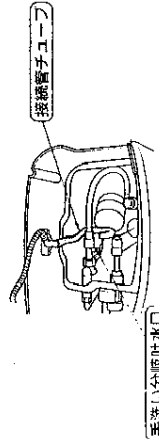


- ③ 中ふたをはずします。
- ④ 接続管チューブ(茶色)をはずします。

止水位の調整をするとき、ケースふた(手洗い部)からも水が流れます。次の手順でケースふたへの水をロータンクに流すようにしてください。

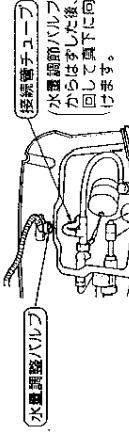
寒冷地仕様以外の場合

- 接続管チューブを手洗い分岐吐水口からはずします。



寒冷地仕様の場合

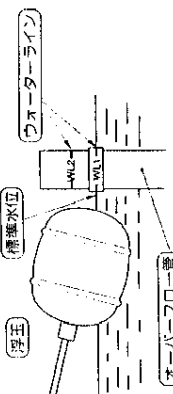
1. 接続管チューブを水量調整バルブからはずします。
2. 下図のように接続管チューブを回して真下に向けます。



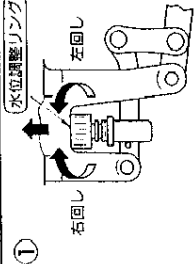
3. ロータンクの止水位をオーバーフロー管のWLに合わせる

ロータンクの止水位をオーバーフロー管のWLに合わせます。

- 洗浄不良防止のため、止水位は確実に合わせてください。
- ※ ラインが2本ある場合はWLに合わせてください。
- ※ 既設便器(旧ZG・ZS)に取付ける場合はWL2に合わせてください。

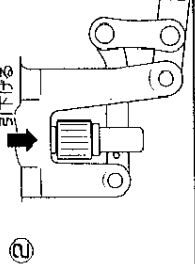


- ① 浮玉を軽く手で押さえながら水位調整リングを引上げて回し、ウォーターライン(オーバーフロー管にWLと表示)に止水位を調整します。

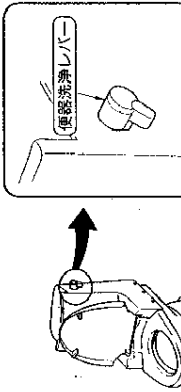


- ※ 止水位の上がり、下がりの確認は、一度便器の水を流して水位を下げた後、自然に止まる水位で確認してください。
- ※ 上から昇り、右に回すと水位が上がり、左に回すと水位が下がります。5回転回すと水位が約8mm変わります。

- ② 調節後は、水位調整リングを引下げて確実にロックします。



4. 水を流してロータンクの止水位を確認する

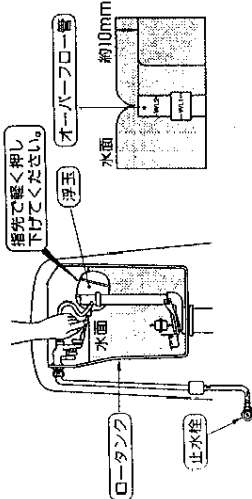


便器洗浄レバーを回すと水が流れます。

5. ロータンクの給水量を調節する

※ 万一、ボールタップが故障しても、ロータンクの水が外にあふれないよう、必ず給水量を確認・調節してください。

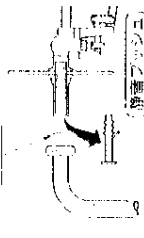
- ① 浮玉を指先で軽く押下げ、止水栓を徐々に開きます。
- ② 止水栓を全開にし、水面がオーバーフロー管より10mm以上上昇しないことを確認します。10mm以上上昇する場合は、止水栓で給水量を調節します。



■ 水圧が低く、ロータンク貯水に時間がかかりすぎる場合 (0.098MPa以下)

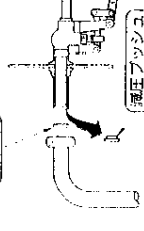
〈寒冷地仕様以外の場合〉

〔パッキン〕



〈寒冷地仕様の場合〉

〔パッキン〕



- ① 止水栓を閉めます。
- ② 配管内の水抜きをします。
- ③ 静音ブッシュまたは減圧ブッシュをはずします。
- ④ 付属品のパッキンを使って、もう一度接続します。

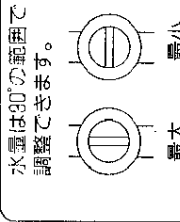
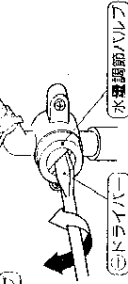
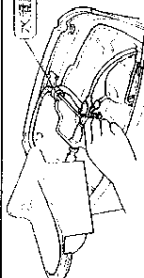
■ 水圧が高く、給水音が激しい場合 (水抜方式)

※ 水圧が高いとロータンクへの給水音が激しくなり給水量が増えます。
ほかの水栓の吐水量に支障のない程度に元バルブを絞ってください。

6. 接続管チューブを接続する (手洗い付の場合)

※ 接続管チューブを確実に接続してください。(漏水の原因になります)。
※ 接続管チューブは、便器洗浄のとき、レバー(小)とのすきまが約10mmあるように取付けてください。(接続管チューブとレバー(小)が干渉して便器洗浄不良の原因になります)

7. 手洗い水量を調整する (寒冷地仕様手洗い付の場合)



水量調整バルブを○ドライバーで調整します。
※ このとき水は流さないでください。
(水を流すと本体内に水がかかり、故障するおそれがあります。)

8. 中ふたを取付ける

9. ケースふたを取付ける

※ 手洗い管チューブが折れないように注意してください。(手洗い付の場合)

10. 水を流して手洗い水量を確認する (手洗い付の場合)

便器の水を流して手洗い水量が適量になったか確認します。

9 試運転

1. 電源プラグを差込む

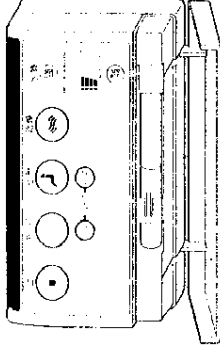
電源プラグを差込むと、ノズルが一度出て戻ります。



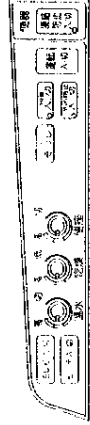
警告 電源プラグは交流100V(50/60Hz)のコンセントに根元まで確実に差込みます。

2. 正しく製品が機能するか確認する

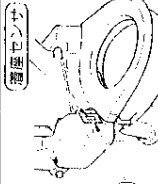
リモコン操作部



補助操作部

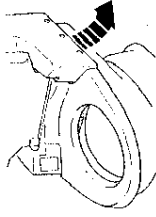


① 着座センサを白紙などでおおう



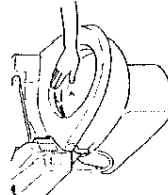
- 着座センサを白紙などでおおいます。
(白紙などでおおおうと着座センサが感知した状態になります。)

② 脱臭機能を確認する



- 本体ケースの右側から風が出ていますか?

③ 洗浄機能を確認する



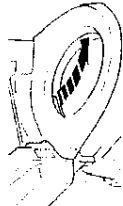
- を押すとノズルから適温の温水が吐水しますか?
吐水は手のひらで受けてください。
(タンクが空のときは吐水するまで約1分、温水になるまで約5分かかります。)

※ ノズル左側の排水口から水が出るときは水抜きレバーを「通常」位置に移動させてください。



- を押すと水勢が変化しますか?
- 本体から水漏れはありませんか?
- を押すと止まりますか?

④ 乾燥機能を確認する (ZEIIの場合)



- を押すと温風が便座後方から出ますか?
- を押すと温風が止まりますか?

⑤暖房便座機能を確認する

- 便座が温まっていますか？
(10～15分かかります。)

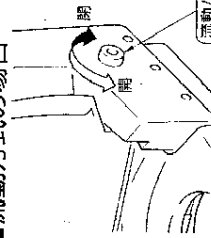
⑥着座センサーの白紙をはす

- 着座センサーをおおっている白紙などをはずします。

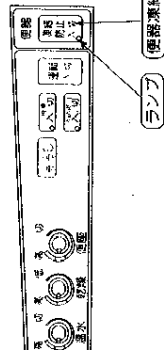
⑦凍結防止機能を確認する(流動方式・ヒータ付便器の場合)


■流動方式の場合

- 流動ハンドルを開けて便器へ水が流れますか？
※確認したら流動ハンドルを開けて水を止めます。



■ヒータ付便器の場合



-  を押してランプが点灯しますか？
※確認したら、便器凍結防止スイッチを切ります。

10

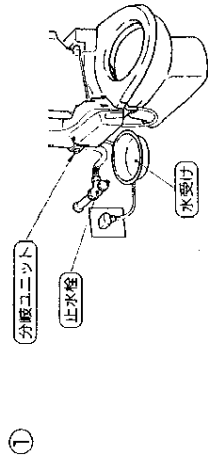
ストレーナ掃除

1. 止水栓を開める

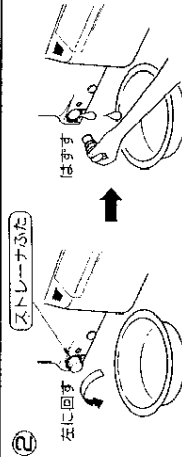


- 止水栓を
㊶ドライバーで開めます。

2. ストレーナふたをはずす



分岐ユニットの下に水受けを置きます。



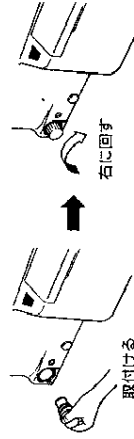
ストレーナふたを左に回してはずします。
※ストレーナふたを開閉するときはペンチなどの工具は使わないでください。
(破損の原因になります。)

3. 掃除をする



ブラシなどで掃除します。

4. ストレーナふたを取付ける



ストレーナふたをもとの位置に戻し、右に回して取付けます。

5. 止水栓を開ける



止水栓を左に回して開けます。
※漏水がないことを確認してください。

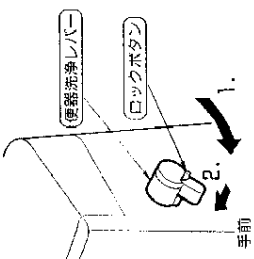
11 お客様への引渡しには

- 取扱説明書の最終ページの保証書に必要事項を記入のうえ必ずお客様にお渡しください。
- 製品の機能・つかいかたについてお客様に説明してください。
- 新築などでお客様に引渡すまでに時間があるときは電源プラグを抜いておいてください。

12 凍結による破損の予防

お客様に引渡されるまでに凍結のおそれがあるときは、漏水事故予防のため止水栓を閉めた(水抜き栓の場合は開)後、次の要領で水抜きしてください。

1. ロータンクの水を抜く

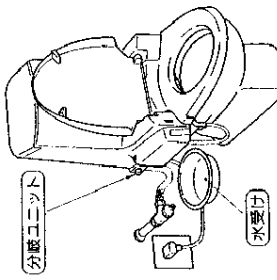


1. 便器洗浄レバーを手前に止まるまで回したまま
2. ロックボタンを押してロックします。

※水抜き方式以外はロックボタンはありません。

2. 配管の水を抜く

①

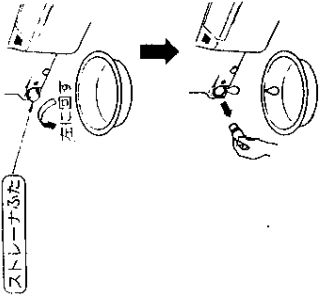


分岐ユニットの下に洗面器などの水受けを置きます。

②

分岐ユニットのストレーナーふたを左に回します。

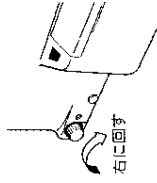
※ストレーナーふたを開閉するときは、ペンチなどの工具は使わないでください。
(破損の原因になります。)



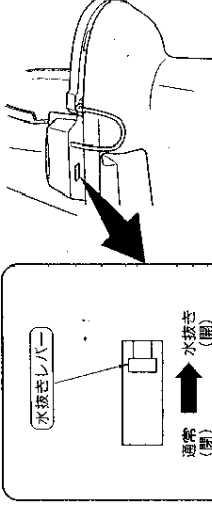
ストレーナーふたをはずして配管の水を抜きます。

③

ストレーナーふたを右に回して取付けます。



3. ウォシレット内の水を抜く



補助操作部下の水抜きレバーを「水抜き」位置に移動させ、ウォシレット内の水を抜きます。

※ウォシユレット内の水は、約4分ですル左側から便器内に抜けます。

4. 水抜きレバーを「通常」位置に戻す

5. 電源プラグを抜く

6. 便器の溜水の処置をする

便器の溜水が凍らないよう、不凍液を入れるなどの処置をします。